

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公表番号】特表 2008-508299 (P2008-508299A)

【公表日】平成 20 年 3 月 21 日 (2008.3.21)

【年通号数】公開・登録公報 2008-011

【出願番号】特願 2007-523777 (P2007-523777)

【国際特許分類】

C 07D 209/46 (2006.01)

C 07D 209/62 (2006.01)

C 07D 405/12 (2006.01)

C 07D 209/48 (2006.01)

A 61K 31/4035 (2006.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

A 61P 35/00 (2006.01)

A 61P 1/04 (2006.01)

A 61P 29/00 (2006.01)

A 61P 19/02 (2006.01)

A 61P 37/02 (2006.01)

A 61P 25/16 (2006.01)

A 61P 37/06 (2006.01)

A 61P 11/06 (2006.01)

A 61P 11/00 (2006.01)

A 61P 25/24 (2006.01)

A 61P 17/04 (2006.01)

A 61P 37/08 (2006.01)

A 61P 17/06 (2006.01)

A 61P 25/00 (2006.01)

A 61P 9/00 (2006.01)

A 61P 25/04 (2006.01)

A 61P 27/02 (2006.01)

【F I】

C 07D 209/46

C 07D 209/62 C S P

C 07D 405/12

C 07D 209/48 Z

A 61K 31/4035

A 61P 43/00 1 1 1

A 61P 35/00

A 61P 1/04

A 61P 29/00

A 61P 29/00 1 0 1

A 61P 19/02

A 61P 37/02

A 61P 25/16

A 61P 37/06

A 61P 11/06

A 61P 11/00

A 61P 25/24

A 6 1 P 17/04  
A 6 1 P 37/08  
A 6 1 P 17/06  
A 6 1 P 25/00  
A 6 1 P 9/00  
A 6 1 P 25/04  
A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月16日(2008.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

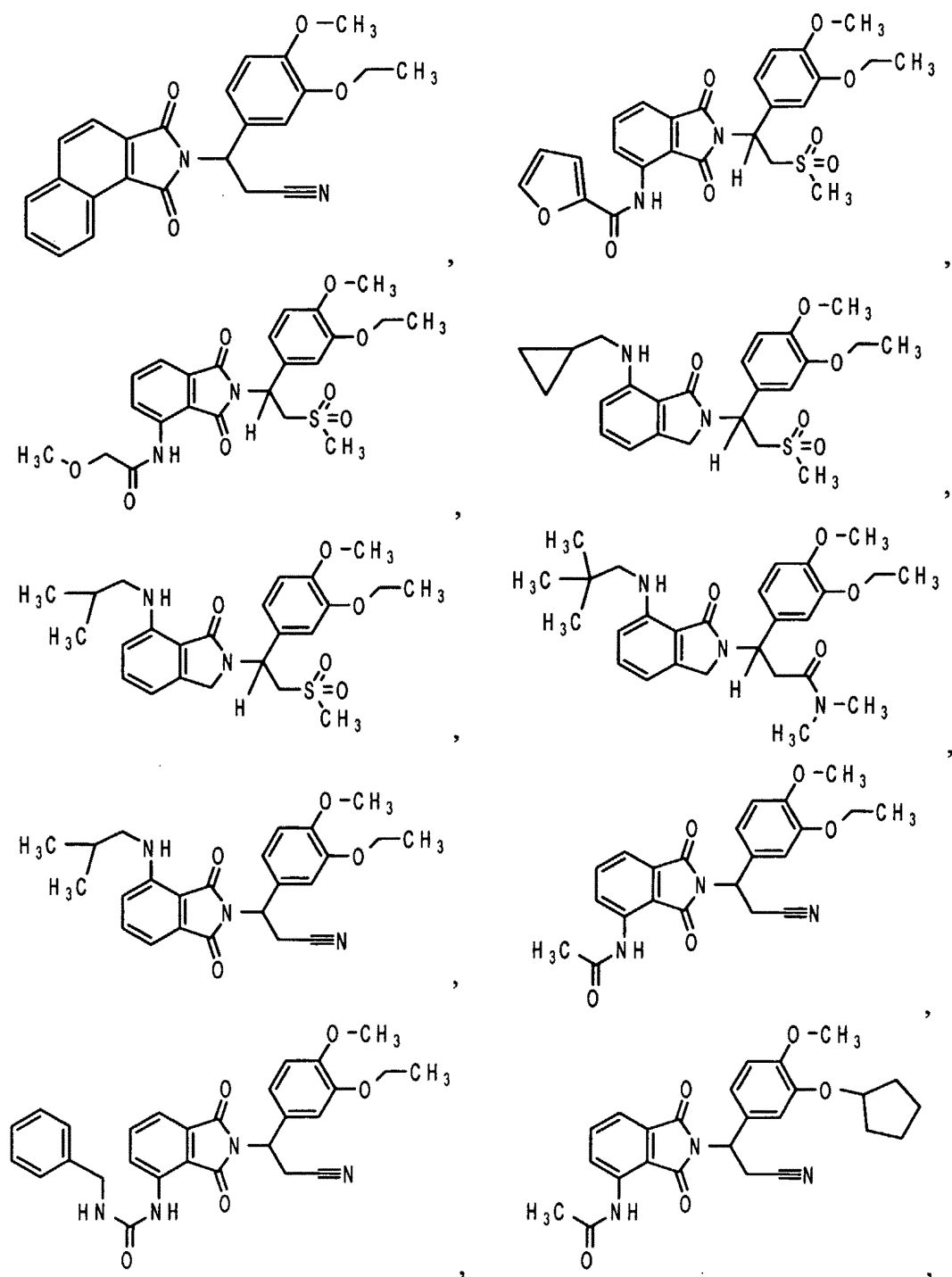
【補正の内容】

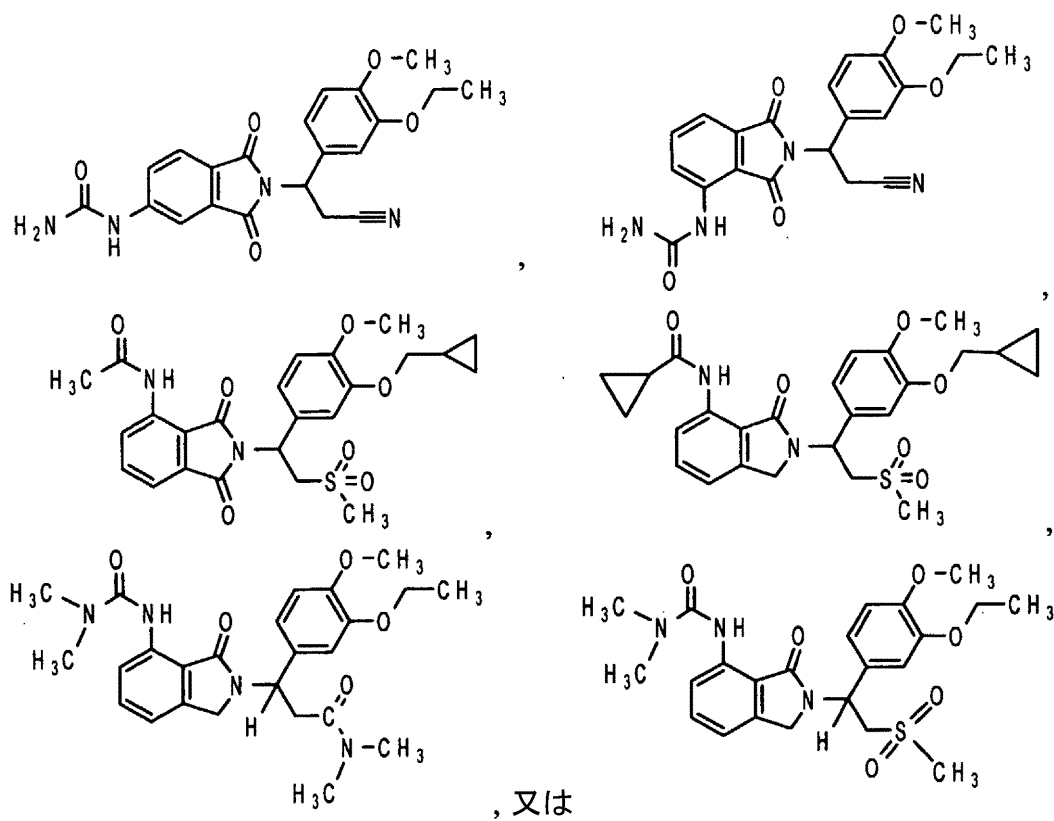
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記化合物、又はそれらの医薬として許容し得る塩、もしくは溶媒和物：

【化 1】

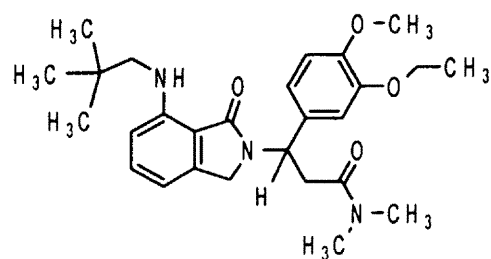
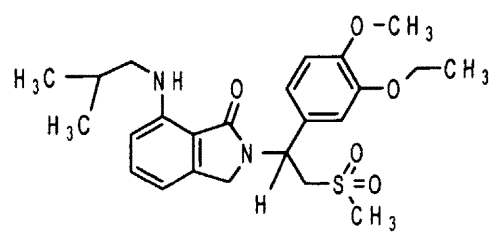
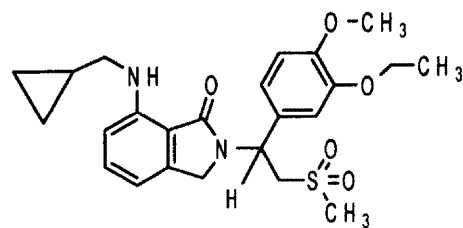
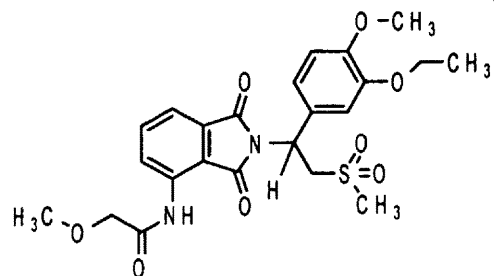
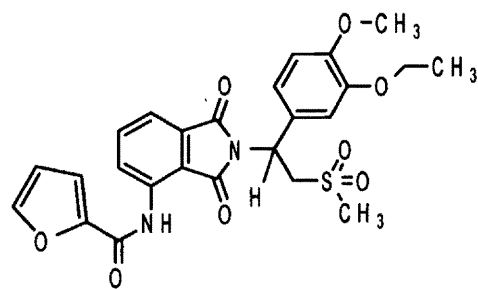
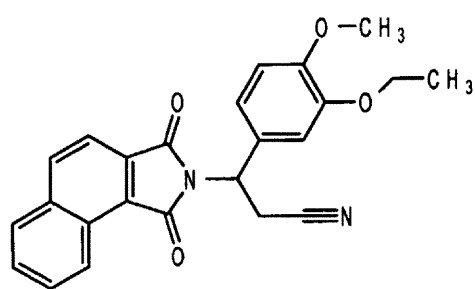


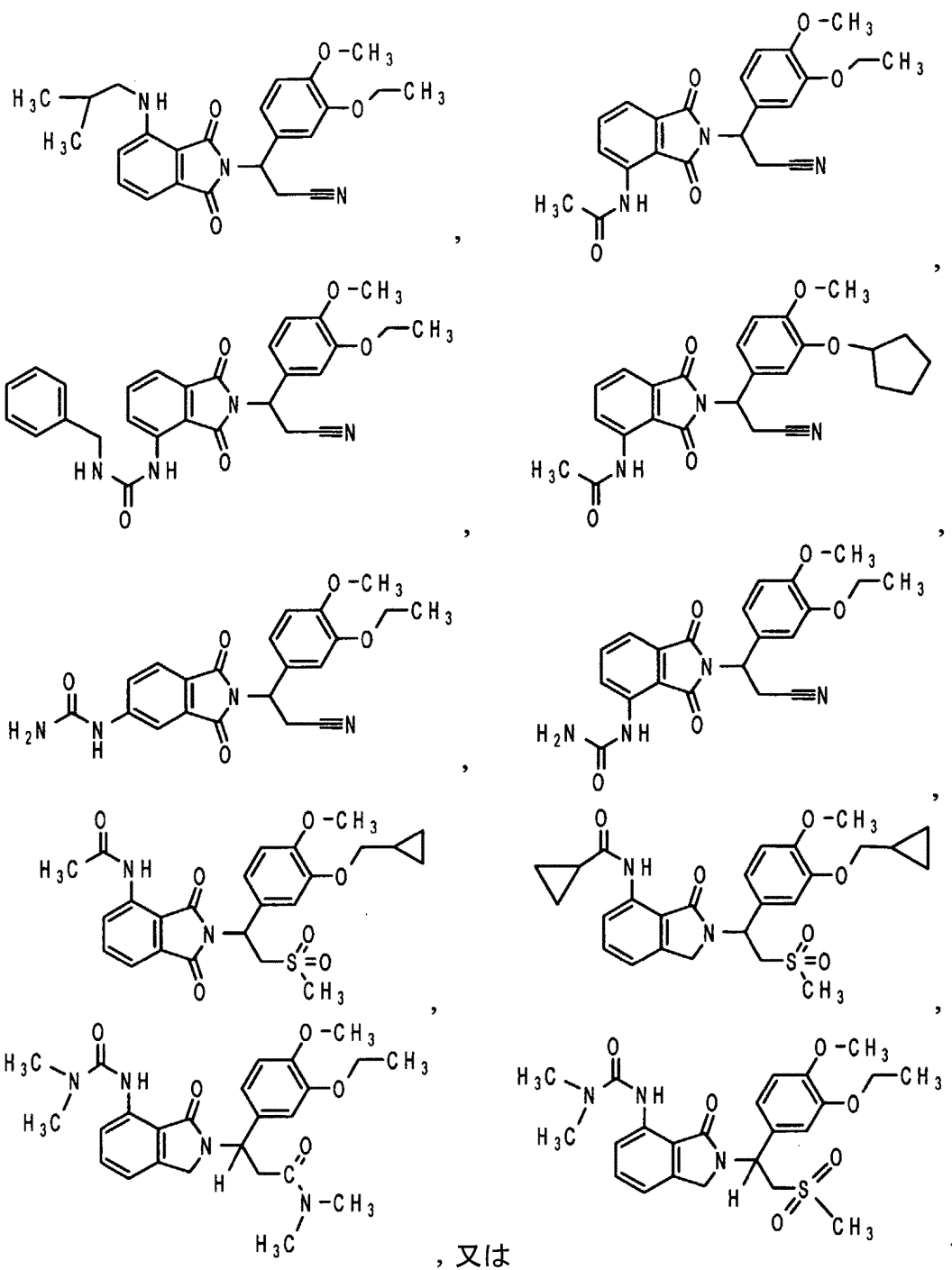


【請求項 2】

下記化合物、又はそれらの医薬として許容し得る立体異性体：

【化 2】

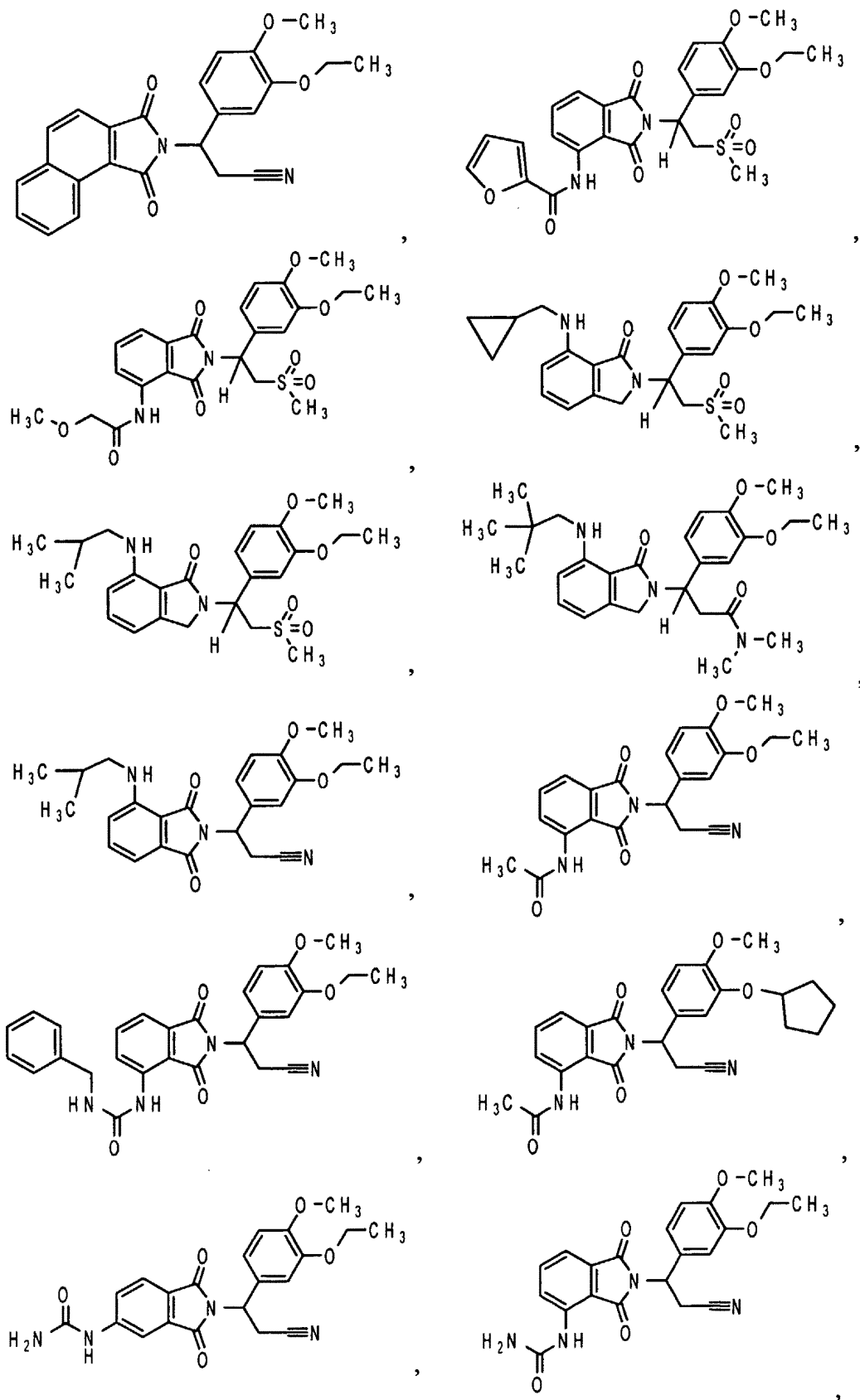


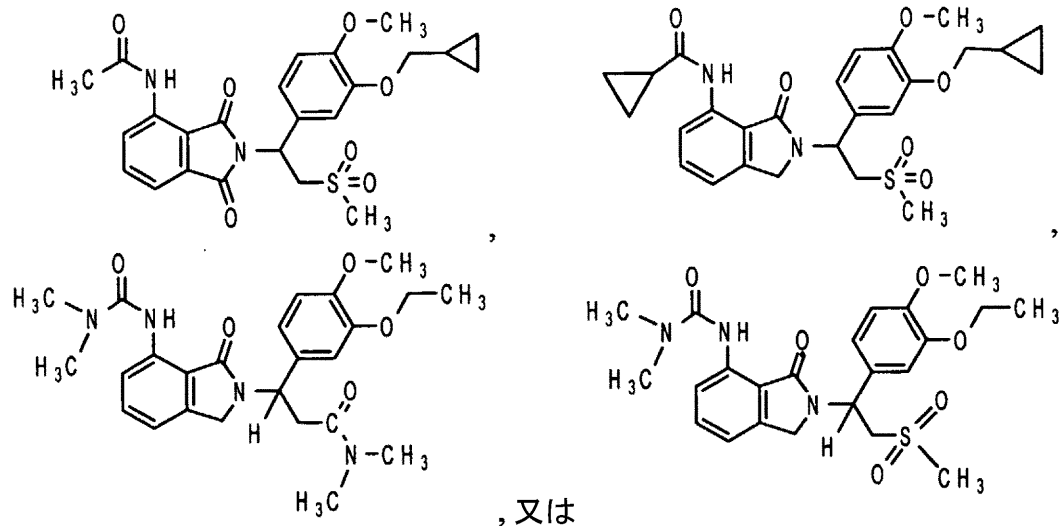


【請求項 3】

下記化合物、又はそれらの医薬として許容し得るプロドラッグ：

【化 3】





。

## 【請求項 4】

請求項1、2又は3記載の化合物を含有する、医薬組成物。

## 【請求項 5】

更に医薬として許容し得る担体又は賦形剤を含有する、請求項4記載の医薬組成物。

## 【請求項 6】

請求項1、2又は3記載の化合物を含有する、剤形。

## 【請求項 7】

経口又は非経口投与に適した、請求項6記載の剤形。

## 【請求項 8】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者においてPDE4を阻害するための医薬組成物

。

## 【請求項 9】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者においてTNF- $\alpha$ の生成を調節するための医薬組成物。

## 【請求項 10】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の望ましくない血管新生を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 11】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の癌を治療又は予防するための医薬組成物

。

## 【請求項 12】

前記癌が、固形腫瘍又は血液感染性腫瘍である、請求項11記載の医薬組成物。

## 【請求項 13】

前記癌が、皮膚；リンパ節；乳房；子宮頸部；子宮；胃腸管；肺；卵巣；前立腺；結腸；直腸；口腔；脳；頭頸部；咽喉；精巣；腎臓；脾臓；骨；脾臓；肝臓；膀胱；喉頭；又は、鼻腔の癌である、請求項11記載の医薬組成物。

## 【請求項 14】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の疾患又は障害を治療又は予防するための医薬組成物であって、該疾患又は障害が、炎症疾患、自己免疫疾患、関節炎、関節リウマチ、炎症性腸疾患、パーキンソン病、クローン病、アフタ性潰瘍、悪液質、移植片対宿主疾患、喘息、成人呼吸窮迫症候群、肺の炎症、鬱病、慢性閉塞性肺疾患、炎症性腸疾患、アトピー性皮膚炎、乾癬又は後天性免疫不全症候群である、前記医薬組成物。



## 【請求項 15】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の喘息を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 16】

前記化合物が、吸入器による投与形態である、請求項15記載の医薬組成物。

## 【請求項 17】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の多発性硬化症を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 18】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の心臓疾患を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 19】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の慢性閉塞性肺疾患を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 20】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の炎症性腸疾患を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 21】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者のアトピー性皮膚炎を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 22】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者のクローン病を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 23】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の関節リウマチを治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 24】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の複合性局所疼痛症候群を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 25】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の骨髄増殖性疾患を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 26】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の骨髄異形成症候群を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 27】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の中樞神経障害を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 28】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者の黄斑変性を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 29】

請求項1、2又は3記載の化合物を含む、患者のアスベスト関連疾患又は障害を治療又は予防するための医薬組成物。

## 【請求項 30】

2-[1-(3-エトキシ-4-メトキシフェニル)-2-メチルスルホニルエチル]-4,5-ジニトロイソインドリン-1,3-ジオンの塩酸塩。